

第 17 回京都市ごみ収集業務評価推進会議

日時：平成 30 年 8 月 6 日（月）

午後 2 時～午後 4 時

場所：職員会館かもがわ 2 階

第 5 会議室

協議事項

平成 30 年度「ごみ収集業務に関するアンケート調査」（案）について（資料 3）

〔配布資料〕

- 資料 1 京都市ごみ収集業務評価推進会議委員名簿
- 資料 2 平成 29 年度のごみ量について（平成 30 年 5 月 16 日 広報資料）
- 資料 3 平成 30 年度 京都市予算 事業概要（一部）
- 資料 4 平成 30 年度「ごみ収集業務に関するアンケート調査」について

京都市ごみ収集業務評価推進会議委員名簿

氏 名	役 職 等
飯田 尚絵	市民公募委員
大内 龍二	市民公募委員
菊池 健太郎	公認会計士
小島 一芳	市民公募委員
高橋 かつ子	市民委員（京都市ごみ減量推進会議理事）
○ 中井 歩	京都産業大学法学部教授
中野 比佐子	市民委員（京都市地域女性連合会常任理事）

(○は会長，五十音順，敬称略)

◆ 事務局

環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課

ごみ量が
ピーク時から半減！



平成30年5月16日
京都市環境政策局
担当：循環型社会推進部ごみ減量推進課
TEL：213-4930

平成29年度のごみ量について

平成29年度のごみ（一般廃棄物）の市受入量を取りまとめましたので、お知らせします。

記

京都市のごみ量は、市民、事業者の皆様の御協力・御尽力により、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」^{※1}を施行した平成27年度及び28年度の2年間で約1割（4.4万トン）の減量が進みました。平成29年度は、減量ペースが大幅にダウンし、対前年度比△1.0％に留まり、413,066トン（対前年度比△0.4万トン、平成12年度のピーク時から△50％）となりました。

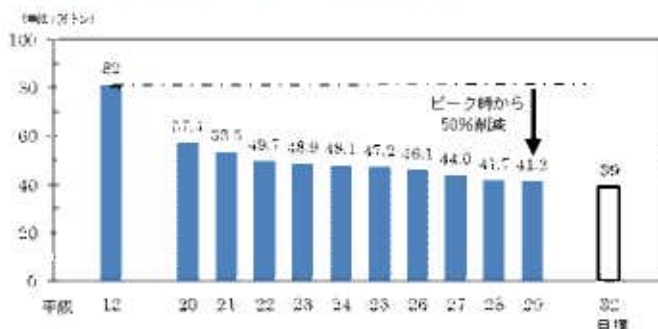
今後、より一層、市民、事業者の皆様とともに、紙ごみの分別徹底、食べ残しや手つかず食品といった食品ロスの削減等を推進し、平成32年度までにピーク時の半分以下39万トン^{※2}を必ず実現してまいります。

※1「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の愛称 ※2「新・京都市ごみ半減プラン」に掲げる目標値

（単位：万トン）

	平成12年度 （ピーク時）	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家庭ごみ	35	22.4	21.8	21.6
対前年度比（増減率）	—	△0.5（△2.1％）	△0.6（△2.7％）	△0.2（△1.0％）
対ピーク時（増減率）	—	△12.6（△35％）	△13.2（△37％）	△13.4（△37％）
うち燃やすごみ	32	19.4	18.8	18.6
対前年度比（増減率）	—	△0.6（△3.1％）	△0.6（△3.2％）	△0.2（△0.8％）
対ピーク時（増減率）	—	△12.6（△38％）	△13.2（△40％）	△13.4（△41％）
事業ごみ	47	21.5	19.9	19.7
対前年度比（増減率）	—	△1.7（△7.3％）	△1.6（△7.6％）	△0.2（△1.0％）
対ピーク時（増減率）	—	△25.5（△54％）	△27.1（△58％）	△27.3（△58％）
本市受入量	82	44.0	41.7	41.3
対前年度比（増減率）	—	△2.2（△4.7％）	△2.2（△5.1％）	△0.4（△1.0％）
対ピーク時（増減率）	—	△38.0（△46％）	△40.3（△49％）	△40.7（△50％）

（注）一部、四捨五入による誤差あり。



市民1人1日当たりの家庭ごみ量は、402グラムに！
全国の大都市の中で最も少なかった平成28年度*から
微量ではありますが、更に減量が進みました。

※ 平成28年度の市民1人1日当たりの家庭ごみ量
京都市：406グラム（他の政令指定都市平均の4分の3）
他の政令指定都市平均：557グラム

（出典：平成28年度 環境省「一般廃棄物処理事業実施計画書」・平成29年度京都市の若者まちづくり委員



こごみちゃん

ごみ処理コストの大幅な削減も実現！ ⇒ピーク時比△154億円/年

（平成14年度 367億円→平成28年度 213億円）

<主な内容> ・ クリーンセンター（清掃工場） 5箇所 ⇒ 3箇所

・ 家庭ごみの収集車両稼働台数 258台/日 ⇒ 188台/日



めぐるくん

平成30年度 京都市予算案 事業概要

環境政策局

事務事業名	食品ロス削減等推進事業		
予 算 額	13,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	循環型社会推進部 ごみ減量推進課（213-4930）		
[事業実施に至る経過・背景など]			
ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例^{※1}」と、これを具体化した「新・京都市ごみ半減プラン」を推進し、プラン最終年度（2020年度）までにごみ量をピーク時の半分以下の3.9万トンとする目標を定めているが、ごみ量の約4割を占める生ごみ約1.5万トンのうち、未だ約6,4万トンもの「食品ロス^{※2}」が家庭や事業所から排出されている。 本市は、全国で初めて食品ロス削減目標を設定しており、プラン最終年度（2020年度）に5万トンまで削減するという目標を達成するため、平成30年度も引き続き重点的に取り組むことにより、2R^{※3}の促進を図る。 ※1 「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の愛称 ※2 下付かず食品及び食べ残し ※3 ごみになるものを作らない・買わないといった「リデュース」と繰り返し使う「リユース」			
[事業概要]			
1 「京都市食品ロス削減推進販売店舗認定制度（仮称）」の創設			
販売期限の延長などによる食品廃棄の抑制効果や影響等（対象品目別、消費行動に関する調査等）を把握し、食品ロス削減に資する取組の効果検証を行うとともに、食品ロスの削減に取り組む小売店舗（食品スーパー等）を「京都市食品ロス削減推進販売店舗（仮称）」として本市が認定する制度を創設する。 本市と認定店舗が連携して食品ロス削減の情報発信を行うことで、市民と一体となった、食品ロス削減に資する販売・購入（消費）の取組を推進する。			
2 コンビニエンスストア及び食品スーパーから排出される食品ロスに係る調査			
市内小売業（主にコンビニエンスストア及び食品スーパー）における食品ロス削減について、事業者が実施している優良な取組を普及・拡大するための方策を検討するとともに、食品廃棄量の調査により、リサイクル可能量の推計を行い、食品ロス削減につなげていく。			

3 食品ロス削減全国大会の開催

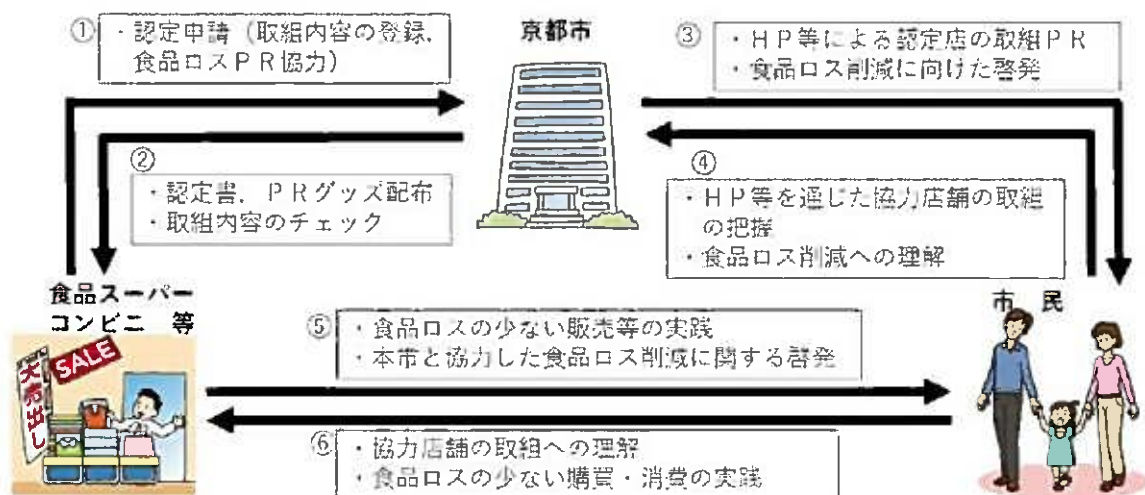
食品ロス削減に取り組む自治体が参加する「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」とともに、本市が京都市内で第2回食品ロス削減全国大会を開催（平成30年10月30日）し、全国の自治体との連携・協働に積極的に開わり、食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を図る。

また、市民・事業者の皆様へ積極的にPRしていく中で、本市が先進的に食品ロス削減に取り組んでいることを理解していただくとともに、市民の皆様にも大会に参加いただくことで、更なる食品ロス削減の取組を促進させ、ごみ減量・リサイクルの推進はもとより、もったいない、しまつの心など、京都の優れた生活文化の浸透を力強く発信していく。

〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕

食品ロス削減推進販売店舗認定制度イメージ

食品ロスの削減に取り組む食品スーパー等を「食品ロス削減推進販売店舗（仮称）」に認定し、本市と認定店舗が連携して食品ロス削減についての情報発信を行う。市民（消費者）への取組の理解と消費行動の実践を通じ、加工食品等の販売期限の延長など、事業者の食品ロスの削減に資する取組の更なる実践促進につなげる。



平成30年度 京都市予算案 事業概要

環境政策局

事務事業名	紙ごみ削減推進事業		
予 算 額	23,700千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	循環型社会推進部 ごみ減量推進課（213-4930）		

〔事業実施に至る経過・背景など〕

ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例[※]」と、これを具体化した「新・京都市ごみ半減プラン」を推進し、プラン最終年度（2020年度）までにごみ量をピーク時の半分以下の39万トンとする目標を定めているが、ごみ量の約3割を占める紙ごみ約11万トンのうち、未だ4.6万トンものリサイクル可能な紙ごみが、燃やすごみ等の可燃ごみとして家庭や事業所から排出されている。

平成30年度は、雑がみ等紙ごみ削減対策として、コミュニティ回収制度の助成対象をマンション管理会社にも拡充するとともに、ごみ分別の啓発・指導を行う指導員4名を新たに配置し、コミュニティ回収制度利用の促進や分別が進んでいないとみられる賃貸マンションにおける雑がみ等紙ごみ分別・リサイクルの取組を促進する。

また、SNSを活用した若年層向けの啓発に新たに取り組むことで、雑がみ等紙ごみの減量を促進する。

※ 「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の愛称

〔事業概要〕

1 コミュニティ回収等の集団回収事業の助成制度の拡充

地域の自主的な古紙等の回収を支援するコミュニティ回収制度について、助成対象をマンション管理会社にも拡充し、マンション入居者の紙ごみ分別排出の機会を拡大することで、雑がみ等紙ごみの削減を図る。

2 徹底した紙ごみ分別指導・啓発の実施

徹底した分別指導を行う指導員4名を新たに配置し、分別が進んでいないとみられる賃貸マンション等への直接指導及び分別・リサイクルの啓発を行う。

また、マンション管理会社等に対し、コミュニティ回収制度の利用の勧奨を行い、マンションから発生する雑がみ等紙ごみの減量を促進する。

3 大学生・ごみ減量サポーター事業

日常生活において自らが実践した2Rや分別の取組等について、SNS（ツイッターやインスタグラム等）にて広く発信する大学生等を「大学生・ごみ減量サポーター」として任命する。

各サポーターが大学生らしい発想を生かし、創意工夫により友人等に向けて発信する内容を通じ、サポーターと同世代である若年層の紙ごみ削減をはじめとしたごみ減量、分別・リサイクル意識の向上、ごみ減量に資する行動の定着や実践の輪づくりを図る。

【参 考（他都市の状況・事業効果など）】

京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査 <概要>

1 調査目的

本市のごみ収集業務について、市民の皆さまの意識や御意見を把握し、業務の改善に生かすことにより、より満足度の高い市民サービスを実現するため。

2 調査概要

(1) 調査対象

市内全域3,000世帯

まち美化事務所	調査数（世帯）	まち美化事務所	調査数（世帯）
北部	440	西部	550
東部	460	西京	270
山科	350	伏見	450
南部	480		
		合 計	3,000

(2) 調査方法

まち美化事務所の職員が、調査票を直営収集、委託収集、各々の収集区域ごとに無作為に配付し、回収は郵送により実施

(3) 調査期間

平成30年8月下旬～9月30日（予定）

※ 平成29年度は、8月下旬～9月30日

(4) 回収状況

平成29年度は、回答数1,360（回収率 45.3%）

平成28年度は、回答数1,358（回収率 45.3%）

平成27年度は、回答数1,418（回収率 47.3%）

平成26年度は、回答数1,037（回収率 34.5%）

平成25年度は、回答数1,448（回収率 48.3%）

平成24年度は、回答数1,340（回収率 44.7%）

平成23年度は、回答数1,300（回収率 43.3%）

平成22年度は、回答数1,274（回収率 42.5%）

(5) 主な調査項目

ア 安全・親切・丁寧で、美しい作業について

「きれいな収集ができているか。」 など

イ 市民サービス、市民における認知度、市民満足度について

「収集全般について満足しているか」 など

ウ ごみの分別や拠点回収に関する意識について

「ごみの減量や分別、リサイクルについて知りたい情報はどのようなことか。」 など

京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査 <新旧対応表（H29・H30）>

分 野	H29	H30への 変更状況	H30
回答者の属性	質問1 性別	—	質問1 性別
	質問2 年齢	—	質問2 年齢
	質問3 お住まいの行政区	—	質問3 お住まいの行政区
	質問4 職業	—	質問4 職業
丁寧な作業	質問5 きれいな収集	—	質問5 きれいな収集
	（副問） 「きれい」と感じない理由	—	（副問） 「きれい」と感じない理由
	質問6 ごみの取残し	—	質問6 ごみの取残し
	（副問） 取残しの理由	—	（副問） 取残しの理由
	質問7 不適正な排出ごみ	—	質問7 不適正な排出ごみ
	（副問） 不適正な排出ごみへのシール貼付	—	（副問） 不適正な排出ごみへのシール貼付
	（副問） 収集できない理由のシールへの記載	—	（副問） 収集できない理由のシールへの記載
	質問8 安全に配慮した収集	—	質問8 安全に配慮した収集
	（副問） 危険と感じた理由	—	（副問） 危険と感じた理由
	質問9 丁寧な作業	—	質問9 丁寧な作業
	（副問） 良い理由、悪い理由	—	（副問） 良い理由、悪い理由
安全運転	質問10 スピードの出し過ぎ、無理な車線変更、 運転マナー	—	質問10 スピードの出し過ぎ、無理な車線変更、 運転マナー
	（副問） 悪い理由	—	（副問） 悪い理由
市民サービス	質問11 声かけ、あいさつ	—	質問11 声かけ、あいさつ
	質問12 カラスネット貸与制度の認知度	—	質問12 カラスネット貸与制度の認知度
	（副問） カラスネットの片付け	—	（副問） カラスネットの片付け
市民における認知度	質問13 まち美化事務所の業務の認知度	—	質問13 まち美化事務所の業務の認知度
	質問14 エコまちステーションの業務の認知度	—	質問14 エコまちステーションの業務の認知度

知度	質問14 エコまちステーションの業務の認知度	—	質問14 エコまちステーションの業務の認知度
ごみの排出に関する意識	質問15 排出における困難な点	—	質問15 排出における困難な点
市民満足度	質問16 収集全般における満足度	—	質問16 収集全般における満足度
ごみの分別や拠点回収に関する意識	質問17 分別の徹底に重要なこと	—	質問17 分別の徹底に重要なこと
	質問18 有料指定袋にバイオマスポリエチレン	削除	質問18 新聞・段ボールの排出方法
	質問19 取組の推進	削除	(新) 質問19 新聞・段ボールの排出時の課題
	質問20 バイオマスポリエチレンの知識	削除	質問20 雑がみの排出方法
	質問21 せん定枝の収集	削除	(新) 質問21 雑がみの排出時の課題
	質問22 小型家電の収集	削除	(新) 質問22 まち美化事務所での拠点回収の認知度
	質問23 新聞・段ボールの排出方法	質問18へ	(新) 質問23 まち美化事務所での拠点回収への要望
	質問24 雑がみの分別	削除	質問24 生ごみの減量に関する家庭での取組
	(副問) 排出方法	質問20へ	質問25 食品ロスとは
	(副問) 分別していない理由	削除	(副問) 食品ロスの取組
	質問25 古着の排出方法	削除	(新) 質問26 小型家電のリサイクルの認知度
	質問26 生ごみの減量に関する家庭での取組	質問24へ	(新) 質問27 海洋ごみ・マイクロプラスチック問題の認知度
	質問27 食品ロスとは	質問25へ	(新) 質問28 海洋ごみ・マイクロプラスチック問題に関する考え方
	(副問) 食品ロスの取組	質問25(副問)へ	質問29 ごみ分別や減量に関する情報の入手方法
	質問28 使用済てんぷら油の拠点回収の認知度	削除	質問30 ごみ減量等に関して知りたい情報の種類
	(副問) 利用している回収方式	削除	質問31 ごみ減量等に関する説明会への参加希望
	(副問) 利用されない理由	削除	質問32 収集や分別に関する希望
	質問29 ごみ分別や減量に関する情報の入手方法	質問28へ	質問33 自由意見
	質問30 ごみ減量等に関して知りたい情報の種類	質問29へ	
	質問31 ごみ減量等に関する説明会への参加希望	質問30へ	
	質問32 ごみ減量等に関する活動への参加状況	削除	
	質問33 収集や分別に関する希望	質問32へ	

その他	質問34 自由意見	質問33へ	
-----	-----------	-------	--

「京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査」へのご協力をお願い
～皆様のご意見を業務の改善等に生かしてまいります。～

平成30年8月
京都市環境政策局

日ごろから京都市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、市民の皆様の良好な生活環境を守るため、市内7箇所にある「まち美化事務所」を中心として、「安全・親切・丁寧・美しい作業」をモットーに家庭ごみ収集業務を行っています。

ごみ収集業務につきまして、市民の皆様に、ご満足いただけるサービスの提供につなげるとともに、市民の皆様のご協力のもと、ごみ減量・リサイクルをより一層推進するため、ご意見・ご要望をお聞かせいただきたいと存じます。つきましては、お手数ですが、同封しましたアンケートへのご回答にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 本アンケート調査は、市内にお住まいの方の中から無作為に選ばせていただきました。3,000世帯の皆様をお願いしています。
- 回答方法につきましては、調査票の当てはまる□の中に、✓をご記入ください。（選択肢「その他」をお選びの場合は、かっこ内にご記入ください。自由記入欄は、□中にご記入ください。）
- ご記入いただきました調査票は、同封しております返信用封筒に入れ、平成30年9月30日（日）までに、投函していただきますようお願いいたします。（切手を貼る必要はございません。）
- 回答は、個人を特定できない統計用データとしてのみ利用させていただきます。



アンケート調査票

当てはまる□に✓を入れてください。(「☒」のようにしてください。)

アンケート調査票

当てはまる□に✓を入れてください。(「☒」のようにしてください。)

基本的項目

(質問 1) あなたの性別をお聞かせください。

- ☐ ①女性
- ☐ ②男性

(質問 2) あなたの年齢をお聞かせください。

- ☐ ① 20歳未満
- ☐ ② 20代
- ☐ ③ 30代
- ☐ ④ 40代
- ☐ ⑤ 50代
- ☐ ⑥ 60歳以上

(質問 3) あなたのお住まいの行政区をお聞かせください。

- ☐ ①北 区 ☐ ②上京区 ☐ ③左京区
☐ ④中京区 ☐ ⑤東山区 ☐ ⑥山科区
☐ ⑦下京区 ☐ ⑧南 区 ☐ ⑨右京区
☐ ⑩西京区 ☐ ⑪伏見区

(質問 4) あなたの職業等をお聞かせください。

- ☐ ①会社員
- ☐ ②自営業
- ☐ ③公務員
- ☐ ④主婦・主夫
- ☐ ⑤学生
- ☐ ⑥その他（ ）

収集作業

(質問 5) お住まいの地域の家庭ごみ収集作業は、ごみの散乱などもなく、きれいに収集ができていますか。

- ☐ ①できている
- ☐ ②おおむねできている
- ☐ ③ほとんどできていない → 以下の（質問5－2）へ
- ☐ ④できていない → 以下の（質問5－2）へ
- ☐ ⑤分からない

【質問5で「③ほとんどできていない」、「④できていない」と回答された方へ】

(5-2) きれいに収集できていないと感じられた理由を具体的にお聞かせください。

(質問 6) 収集日の夕方(午後4時ごろ)以降に、ごみが残っていたことはありますか。

- ☐ ①ない
- ☐ ②ほとんどない
- ☐ ③時々ある →以下の(質問6-2)へ
- ☐ ④よくある →以下の(質問6-2)へ
- ☐ ⑤分からない

【質問6で「③時々ある」、「④よくある」と答えられた方へ】

(6-2) その理由と思われるものを、次のうちからお選び下さい。

- ☐ ①収集できない物が出されていた、分別が不十分であった
- ☐ ②ごみ収集が終わってから、出されていた
- ☐ ③収集されていなかった(収集もれ)
- ☐ ④普段から収集時間が遅い(午後4時以降に収集されている)
- ☐ ⑤分からない

(質問 7) ごみの排出場所で不適正なごみの排出(※)を見かけたことがありますか。



※「不適正なごみの排出」とは・・・

- ・京都市の指定袋以外で出している
- ・「燃やすごみ用」の指定袋に大型ごみを入れて出している
- ・「プラスチック製容器包装」のごみを入れた指定袋にプラスチック製品(ハンガー、おもちゃ、ケース類など)が大量に混じっているなどです。

- ☐ ①たびたび見かける →以下の(質問7-2)へ
- ☐ ②見かけたことがある →以下の(質問7-2)へ
- ☐ ③見かけたことがない
- ☐ ④分からない



【質問7で「①たびたび見かける」、「②見かけたことがある」と回答された方へ】

(7-2) 京都市では、不適正に排出されたごみには、ごみ袋に収集しない理由を書いた啓発シール(別紙に写真を掲載しています。)を貼り、収集をしていません。不適正なごみの袋にはシールが貼ってありましたか。

- ☐ ①貼ってある →以下の(質問7-3)へ
- ☐ ②貼ってない
- ☐ ③分からない

【質問7-2で「①貼ってある」と回答された方へ】

(7-3) シールには、収集しなかった理由は書かれていましたか。

- ☐ ①書かれていた
- ☐ ②書かれていなかった
- ☐ ③覚えていない

(質問8) 収集作業中に、ごみが飛び散るなどして他の車両や歩行者の通行の妨げになったり、危ないと感じたことはありますか。

- ☐ ①ない
- ☐ ②ほとんどない
- ☐ ③時々ある →以下の(質問8-2)へ
- ☐ ④よくある →以下の(質問8-2)へ
- ☐ ⑤分からない

【質問8で「③時々ある」、「④よくある」と回答された方へ】

(8-2) 通行の妨げになったり、危ないと感じられた状況をお聞かせください。

(質問9) 収集作業の丁寧さについて、どのように感じますか。

- ☐ ①良い →以下の(質問9-2)へ
- ☐ ②おおむね良い →以下の(質問9-2)へ
- ☐ ③やや悪い →以下の(質問9-2)へ
- ☐ ④悪い →以下の(質問9-2)へ
- ☐ ⑤分からない

【質問9で「①良い」、「②おおむね良い」、「③やや悪い」、「④悪い」と回答された方へ】

(9-2) 良い、悪いと感じられた理由を具体的にお聞かせください。

安全運転

【質問１０】 京都市のごみ収集車（別紙に写真を掲載しています。）の運転について、スピードの出し過ぎ、無理な車線変更、マナーの悪い運転等を見たことがありますか。

- ☐ ① ない
- ☐ ② ほとんどない
- ☐ ③ 時々ある → 以下の（質問１０－２）へ
- ☐ ④ よくある → 以下の（質問１０－２）へ
- ☐ ⑤ 分からない（ごみ収集車を意識して見たことがない等）

【質問１０で「③時々ある」、「④よくある」と回答された方へ】

（１０－２） どのような運転であったかを具体的にお聞かせください。

市民サービス

【質問 １１】 市民の皆様にごみの集積場所で出会った際、作業員は自分から声かけ、あいさつをしていますか。

- ☐ ① している
- ☐ ② おおむねしている
- ☐ ③ ほとんどしていない
- ☐ ④ していない
- ☐ ⑤ 職員に会ったことがない

【質問 １２】 カラス等によるごみの散乱を防ぐために、京都市では、おおむね５世帯以上で利用されている集積場所ごとに、カラスネット（防鳥用ネット）を無償で貸し出すサービスを実施しておりますが、このカラスネット貸与制度について、ご存知ですか。

- ☐ ① 使用している → 以下の（質問 １２－２）へ
- ☐ ② 知っているが、使用していない
- ☐ ③ 知らない



【質問 12で「①使用している」と回答された方へ】

（質問 12-2） カラスネットがごみ袋にかぶせてある場合、作業員は収集後、ネットが歩行者や自転車の通行の妨げとならないよう、片付けることができますか。

- ☐ ①できている
- ☐ ②おおむねできている
- ☐ ③ほとんどできていない
- ☐ ④できていない
- ☐ ⑤分からない

（質問 13） 京都市では、市内7箇所に「まち美化事務所」を設置しています。まち美化事務所の主な業務は以下のとおりですが、これらの業務を行っていることについて、ご存知ですか。

- ・ 家庭ごみの収集運搬
- ・ ごみの出し方や排出場所、資源物の分別方法など市民からの様々な相談対応
- ・ カラスネットの貸与
- ・ ボランティア清掃等のまちの美化に係る取組支援
- ・ ごみ処理手数料免除対象者用の指定袋の交付（必要とする方のお宅への配送） など

- ☐ ①知っていたし、利用したことがある
（電話問い合わせ、地域での活動等を含む）
- ☐ ②知っていたが、利用したことはない
- ☐ ③知らなかったが、上記のことをやっているなら利用してみたい
- ☐ ④知らなかったし、特に利用したいとも思わない

（質問 14） 環境行政の総合窓口として14区役所・支所内に「エコまちステーション」を設置しています。

エコまちステーションの主な業務は以下のとおりですが、これらの業務を行っていることについて、ご存知ですか。

- ・ ごみ減量相談
- ・ コミュニティ回収助成事業、使用済てんぷら油回収助成制度、地域における生ごみ・落ち葉等堆肥化活動助成事業、資源物回収拠点の拡大
- ・ 地域ごみ減量推進会議の活動支援
- ・ こどもエコライフチャレンジ推進事業
- ・ エコ学区の推進 など

- ☐ ①知っていたし、利用したことがある
（電話での問い合わせ、地域での活動等を含む）
- ☐ ②知っていたが、利用したことはない
- ☐ ③知らなかったが、上記のことをやっているなら利用してみたい
- ☐ ④知らなかったし、特に利用したいとも思わない

(質問19) 新聞、ダンボールを排出するときに困っていることはありますか。

(当てはまるもの全て)

- ☐ ①地域で集団回収が行われていない
- ☐ ②地域で集団回収が行われているが参加しにくい
- ☐ ③古紙回収業者がなかなか来ない
- ☐ ④近くに持ち込める回収拠点がない
- ☐ ⑤その他 ()

(質問20) 雑がみはどのように排出していますか。

(当てはまるもの全て)

- ☐ ①コミュニティ回収などの地域の集団回収に出している。
- ☐ ②地域を巡回している古紙回収業者に出している。
- ☐ ③まち美化事務所、区役所・支所などに持ち込んでいる。
- ☐ ④市の収集日(小型金属類・スプレー缶)に出している。
- ☐ ⑤その他 ()



※「雑がみ」とは・・・

新聞、ダンボール、紙パック以外のリサイクルできる紙ごみで、包装紙、紙袋、チラシ、雑誌などのことです。

(質問21) 雑がみを排出するときに困っていることはありますか。

(当てはまるもの全て)

- ☐ ①地域で集団回収が行われていない
- ☐ ②地域で集団回収が行われているが参加しにくい
- ☐ ③古紙回収業者がなかなか来ない
- ☐ ④近くに持ち込める回収拠点がない
- ☐ ⑤市の収集日(月に1回)が少ない。
- ☐ ⑥その他 ()

(参考) 現在の「資源化可能な紙ごみ」の回収方法

新聞, ダンボール, 紙パック	集団回収(コミュニティ回収登録団体その他団体と回収業者との契約による。)による回収 又は 古紙回収業者による直接回収 のいずれか ※定点での市収集は実施していません
雑がみ	上記又は、月1回、資源定点での市収集 のいずれか

上記のほか、拠点回収実施場所(年1~2回、市まち美化事務所がお近くの公園等に出向き、資源化可能な紙ごみをはじめ資源物の回収を行う)、資源物回収拠点(区役所・支所や回収拠点として認定した商業施設等)に自らお持ち込みいただくことも可能です。

（質問２２） まち美化事務所では、回収拠点として、持ち込んでいただいた資源物を無料で回収しています（※）が、利用したことはありますか。

- ☐ ①利用したことがある
- ☐ ②知っていたが、利用することはない
- ☐ ③知らなかったが、今後利用したい
- ☐ ④知らなかったし、特に利用したいとも思わない

※ 月～金曜日の午前９時～午後４時の間に利用でき、①新聞・段ボール、②雑誌、③紙パック、④使用済てんぷら油、⑤古着類、⑥乾電池、⑦ボタン電池、⑧充電式電池、⑨蛍光灯、⑩水銀体温計・水銀血圧計、⑪小型家電（高さ 30cm×幅 40cm×奥行 40cm 以下のもの）、⑫記憶媒体類（CD、ビデオテープなど）、⑬インクカートリッジ、⑭リユースびん、⑮刃物類、⑯使い捨てライターの 16 品目を回収しています。

（質問２３） 利用されるにあたって、どのようなことを希望しますか。

（当てはまるもの全て）

- ☐ ①利用可能な時間を拡大してほしい
- ☐ ②土・日曜日にも利用できるようにしてほしい
- ☐ ③回収品目を増やしてほしい（具体的に： ）
- ☐ ④その他（ ）

（質問２４） 生ごみを減量するために取り組まれていることはありますか。

（当てはまるもの全て）

- ☐ ①買いすぎず、買ったものは使い切っている
- ☐ ②作ったものは、食べ切っている
- ☐ ③水切りネット等を使用し、水を切っている
- ☐ ④生ごみ処理機を利用している
- ☐ ⑤コンポスト容器を利用している
- ☐ ⑥何もしていない
- ☐ ⑦その他（ ）

（質問２５） 手付かず食品や食べ残しのことを「食品ロス」と言いますが、お聞きになったことはありますか。

- ☐ ①言葉も意味も知っている → 質問２５－２へ
- ☐ ②言葉は聞いたことがある
- ☐ ③初めて聞いた



【質問25で「①言葉も意味も知っている」と回答された方へ】

(25-2) 食品ロスの削減のために取り組まれていることはありますか。

(当てはまるもの全て)

- ☐ ① 買いすぎず、買ったものは使い切っている
- ☐ ② 作ったものは、食べ切っている
- ☐ ③ 賞味期限と消費期限の違いをよく理解し、使用している
- ☐ ④ 外食時は食べられる量だけ注文している
- ☐ ⑤ 特に何もしていない
- ☐ ⑥ その他 ()

(質問26) 京都市では、ごみの減量と資源の有効利用に向けた取組として、使用済小型家電(※)のリサイクルを行っています。

昨年度は、この使用済小型家電から回収された金を使用した京都マラソンの金メダルを制作し、リサイクル資源の活用先の「見える化」を図っており、今後は祇園祭山鉦の金装飾品にも活用していく予定です。

この小型家電リサイクル資源の活用の取組について、御存じでしたか。

- ☐ ① 金メダル、祇園祭山鉦の取組ともに知っていた
- ☐ ② 金メダルの取組を知っていた
- ☐ ③ 祇園祭山鉦の取組を知っていた
- ☐ ④ 知らなかった



※「小型家電」とは・・・

携帯電話やデジタルカメラなど広く電気・電池で動く製品のことで。

(質問27) 世界で毎年800万トンものプラスチックごみ(レジ袋やペットボトル、容器包装等)が海に流れ、分解されずに細かく碎かれ、やがて「マイクロプラスチック」となって、海洋生物への体内に取り込まれるなど、生態系への悪影響や漁業への影響等が懸念されています。

この海洋ごみ・マイクロプラスチックの問題について、御存じでしたか。

- ☐ ① 知っていた
- ☐ ② 聞いたことはあったが、内容は知らなかった
- ☐ ③ 知らなかった



（質問28） 海洋ごみ・マイクロプラスチックの問題について、あなたの考えに近いものはどれですか。

（当てはまるもの全て）

- ☐ ①発生抑制のため、使い捨てのプラスチック製品（レジ袋やペットボトル、容器包装等）は、生活の中でできるだけ利用を控えるべきである
- ☐ ②発生抑制のため、使い捨てのプラスチック製品の製造・販売を規制するべきである
- ☐ ③リサイクルをしっかりと行うべきである
- ☐ ④ポイ捨てや不法投棄対策を強化するべきである
- ☐ ⑤海岸や河川敷の清掃を強化するべきである
- ☐ ⑥この問題が市民に理解されていないため、もっと周知・啓発するべきである
- ☐ ⑦プラスチック製品の利用は便利であるため、生活や製造・販売の仕組みは変わらないと思う
- ☐ ⑧その他（）
- ☐ ⑨わからない

（質問29） 京都市のごみの減量や分別、リサイクルに関する情報をどこから得ていますか。

（当てはまるもの全て）

- ☐ ①テレビ
- ☐ ②新聞（一般紙）
- ☐ ③市民しんぶん
- ☐ ④回覧板
- ☐ ⑤京都市が作成するチラシ
- ☐ ⑥京都市のホームページ
- ☐ ⑦知人
- ☐ ⑧それらの情報には興味がない
- ☐ ⑨その他

（）

（質問30） ごみの減量や分別、リサイクルについて知りたい情報はどのようなことですか。

（当てはまるもの全て）

- ☐ ①ごみの減量方法
- ☐ ②ごみの分別方法
- ☐ ③資源物の回収拠点
- ☐ ④資源物の再資源化の流れ
- ☐ ⑤京都市が行っている助成制度
- ☐ ⑥その他（）

(質問31) 京都市が開催する、お住まいの地域(学区単位、町内会単位等)でのごみ減量や分別、リサイクルに関する説明会や意見交換会があれば参加したいですか。

- ☐ ①参加したい
- ☐ ②参加はしないが、内容は資料や回覧板等で知りたい
- ☐ ③参加したくない

(質問32) 京都市のごみの収集や分別などについて、希望することは何ですか。
(当てはまるものから順に、数字を記入してください。)

優先順位

- ①なるべく早い時間帯に収集を終わらせてほしい
- ②定期収集(※)で回収する資源物の品目を増やしてほしい

※現在、定期収集している資源物は、「プラスチック製容器包装」、「缶・びん・ペットボトル」、「小型金属類・スプレー缶」です。



- ③資源物を出しやすいように、回収拠点を増やしたり、身近な場所に出向いて行う資源物回収を増やしたりしてほしい
- ④ごみ袋をごみ集積場所まで運ぶことが大変な高齢者等に配慮してほしい
- ⑤地域単位でごみ減量活動に取り組めるよう支援してほしい
- ⑥子どもへの環境教育を充実してほしい
- ⑦その他
- ⑧特にない、現状のままでよい

自由意見

(質問33) ごみの収集作業や運転に関すること、今後まち美化事務所に望むサービスなど、ご意見があれば自由にご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

(質問7-2, 7-3 啓発シール)

日付
 / /

このごみは収集 できませんでした

☐ 燃やすごみ
☐ 缶・びん・ペットボトル

☐ プラスチック製容器包装
☐ 小型金属類

分別が不十分です。

下記のごみを取り除いていただき、次回の収集日にこのシールをはがして排出してください。

取り除いていただくごみ

☐ 缶・びん・ペットボトル
☐ 燃やすごみ
☐ 小型金属類
☐ プラスチック製容器包装
☐ 大型ごみ

生ごみ・紙類・プラスチック製品〔ハンガー・おもちゃ・プランター・ケース類〕その他〔
 フライパン・やかん・スプレー缶
 その他〔
 断面積・ボトル類・トレイ類・カップ類
 その他〔
 大型ごみ(大型ごみ受付センターに電話で申し込んでください。電話番号 0120-100-530 (携帯電話からは 0570-000-247))

☐ **指定袋が違います。**
 燃やすごみ用・資源ごみ用 指定袋で排出してください。

☐ **排出時間が違います。**
 「収集日当日の」朝8時までに出してください。

京都市環境政策局北部まち美化事務所
 電話 724-8881

～京都市からのお願い～

このごみは収集できません

This garbage could not be collected
此垃圾不能回收
이 쓰레기는 수거할수 없습니다

条例により次のものは**分別を義務化**しています。
正しい排出をお願いします。

燃やすごみ	リサイクルできる紙類	大型ごみ
・缶・びん・ペットボトル ・プラスチック製の「容器」と「包装」 ・小型金属類・スプレー缶	・新聞、ダンボール ・チラシ、雑誌などの雑がみ ・紙パック	・家具類等 ・電化製品等

分別ルール違反が繰り返されると、条例に基づき必要な調査、指導を行う場合があります。

環境政策局
 電話

●●まち美化事務所
 000-0000

(質問10 京都市のごみ収集車)

